児童養護施設　フランシスコの町

フランシスコの町だより

第 56 号
令和 5 年 3 月 20 日発行
〒370-3511
高崎市金古町 830－3
TEL：027－373－1021
FAX：027－373－7739
https://www.francisco.or.jp/

Spring has come

理事長　齊藤明美

「春はあけぼの。ややうう白くなりゆく山際、少し明かりて、紫だちたる雲の細くたなびきたる。」

弥生三月、春はあけぼのと詠われた季節となり、時間帯は異なりますが、山々のほんのりと春めいた景色に見とれながら、フランシスコの町へと向かう道すがら思うこの頃です。

皆様にはいつも「フランシスコの町」に心をお寄せくださり、感謝申し上げます。そして、施設の周りを上毛の山々に囲まれ、自然の恵みを受けた中で子供たちが伸び伸びと生活できることへの感謝を申し上げます。

ここ数年、子どもたちも職員もコロナに振り回されたた日々であったと思います。そのような中、施設長を始め、職員の皆さんが献身的に接してくださり、何とか切り抜けてまいりました、特に幼児がコロナにかかった時など、つらい思いをした職員もいたことでしょう…

ある日、幼稚園帰りの幼児たちのかわいい声が聞こえると思わず、玄関まで出て行くと、自分より大きな荷物を背負いきちんと靴を靴入れにいれ、お部屋へと急ぎ、元気な声でただいまと言う声が聞こえます。本当に可愛くてなりません。

ようやくマスクの取れる日も近いことでしょう。

さて、前回の「フランシスコの町だより」でご支援をお願いいたしました。「フランシスコ奨学金」では皆様から暖かなご厚意をいただき、本当にありがとうございました。

今年度高校卒業のAさんが短期大学に入学予定となり、奨学金の中から初めての入学祝い金を手渡しできることとなりました。Aさんには初心を忘れることなく、勉学に励んでほしいと思います。

これからも進学の希望を持つ子供たちにフランシスコ奨学金で出来る何らかのサポートを続けていく所存でございますので皆様のご支援をお願い申し上げます。

前回、武井施設長よりご報告申し上げましたが、フランシスコの町の小規模施設の建設用地も決定いたしました。

周りに恵まれた良い土地で、明るく、使いやすい、より家庭的な小規模施設が出来ればと楽しみにしております。

また、随時ご報告させていただきます。

フランシスコの農園もそろそろ忙しくなってくるころかと思います。いろいろな植物が芽吹くように子供たちも伸びて行ってほしいと願う日々です。

まとまりませんが、感謝のうちに…。

新型コロナとともに過ごした三年間

施設長　武井　望

新型コロナウィルスに対する不安が払拭されないまま始まった令和四年度ですが、年度末になって新型コロナの感染法上の分類を五類に引き下げるという方針が政府から示されました。三年にわたるウィズ・コロナの生活もようやく終息が見えてきました。実際に引き下げとなるのはもう少し先であり、また新型コロナウィルスがなくなるわけではないので油断は禁物ですが、希望をもってその時を待ちたいと思います。

この三年間、新型コロナウィルス感染防止策として、施設でも様々な対策に取り組んでまいりました。職員はもちろん、子どもたちにも様々な行動制限を課してきました。思い返すと、この三年間、職員は対策の一環としてマスクを着用し続けたため、子どもたちは職員の素顔をほとんど見ることなく生活してきました。職員の表情を見て様々なことを学び取る子どもたちです。特に、幼児期の子は言語が未発達な分、言語以外の表情や仕草が重要な意味を持ちます。この三年間、職員の素顔・表情をほとんど見ることなく過ごしてきたことが、子どもたちの心の安定や成長にどんな影響を与えたのか、心配でなりません。

また、昨年度、今年度は子どもたちの暴言・暴力や無断外出に悩まされてきました。新型コロナによる行動制限が少なからず影響したとみています。特に、感染者が出るとユニット全体が濃厚接触者となり五日間の隔離を強いられました。職員も子どもも、尋常ではないストレスを感じていたことでしょう。子どもたちが、マスクもせず、隔離生活を余儀なくされることもなく、元気いっぱいに遊びまわる姿を想像すると、私も心が躍ります。それこそが、子どもらしいあり方だと思うのです。

つい先日、施設で四年ぶりに卒業を祝う会を行いました。今年度は一名が進学、二名が就職という形で、この施設を巣立っていきます。この三年間、高校生でありながら、新型コロナによる様々な自粛・制限により青春を謳歌できなかった若者たちです。それぞれ進路は違いますが、それぞれがこの三年間を補って余りあるだけの青春を謳歌し、それぞれの人生を歩んでいくことを願っています。

しんにんしょくいんしょうかい
新任職員紹介

今年入職した新しい職員の方々です。それぞれに質問をお聞きしました。

☆問１「好きな食べ物は？」☆問２「休みの日には何してる？」☆問３「何か一言」

相澤さん（ひだまり担当）

１．いちご

２．映画鑑賞、家の掃除

３．明るく元気に頑張ります。
　よろしくお願いします！

大塚さん（調理担当）

１．辛いもの、ラーメン

２．友達とランチ、買い物

３．よろしくお願いします。

苦情解決報告

令和４年度の苦情解決
（令和４年６月１日から令和５年３月１日時点）

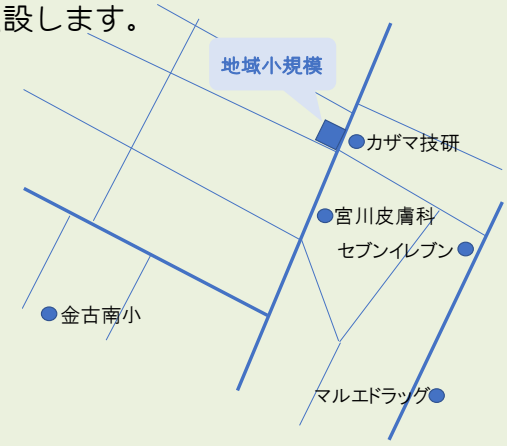
苦情・要望件数　　17 件（保護者０件、職員０件、地域住民０件、児童 17 件）
内容：施設設備　　6 件、職員資質　0 件、施設生活　　11 件

施設では提出された苦情、意見を月に１回（主に第２土曜日）、外部より第三者委員２名（元教諭、地元の主任児童委員）を招いて苦情解決委員会を開催し、対応を協議しています。結果を事務室前掲示板に張り出すとともに当事者には担当者から個別に伝え、苦情解決に当たっています。

コロナ禍でしたが、部屋ごとにレクリエーションにも出かけられました！マスク生活ももうすぐ終わるといいな。

令和６年度　地域小規模施設開設

〇社会福祉法人 児童養護施設 フランシスコの町が運営する２軒目の地域小規模施設が、令和６年度に開設します。



〇児童養護施設の環境よりも、一般家庭に近い環境で職員と子どもたち６名が暮らす予定です。理事長、施設長だけではなく、担当職員も一緒になって地域小規模施設の設計を検討しました。子どもたちにとってより家庭的で安心できる住まいとするべくこれからも検討を続けていきます。

皆様の善意に感謝いたします

（令和４年６月１日～令和５年３月１日までに頂いたものについて）

寄贈品を下さった方々（順不同、敬称略）

榛名酪連、D ステーション、土田、NEXUS、コストコ、ガトーフェスタハラダ、岩田養鶏場、ドンレミー、清水インダストリー、太陽誘電、青山、高崎教会、全国シャンメリー協会、司厨士会、JR 東労組、金谷、齊藤淳、斉藤林業、間庭、反町彩子、北関百瀬、萩原、DIC 労働組合群馬工場、藤江、荒川、ダイナム、フィリップモリス、高崎北ライオンズクラブ、前橋北ロータリークラブ、土曜学校、サンタルギーニ、田端、高橋、明治安田生命、細川、P&G、桜井、釈、高崎市子ども家庭科、山田製作所、城所、多昌、フレーベル館、アカリチョコ、学校警察連絡協会、ほっともっと、アンカンミンカン、毎日新聞社、竹歯ブラシおじさん、その他匿名の方々

寄付金を下さった方々
（順不同、敬称略）

反町彩子、新井精工（有）、エイル代表 岡田潤、JA、小池和也、DIC グラフィックス（株）群馬工場、DIC 労働組合群馬工場支部、手島武雄、群馬県曹洞宗青年会、高崎天使幼稚園、メッツクラブ原田明、国時、その他匿名の方々

フランシスコの町では随時寄付・寄贈を受け付けています。寄贈品についてですが、衣料品や文房具は子ども達の好みに合わせたものを購入させて頂いております。ご寄贈頂ける際には、電話でお問い合わせくださいますよう、お願い申し上げます。皆様の温かいご支援をお待ちしております。

ご寄付金お振込先…銀行：ゆうちょ銀行
振込先：００３８０－２－１７０９４
名義：フランシスコの町　友の会

「フランシスコの町奨学金」　ご協力のお願い

日頃より友の会をご支援くださる皆様、そしてフランシスコの子供たちを見守ってくださる皆様、「フランシスコの町 奨学金」にご理解とご協力をお願い申し上げます。

奨学金お振込先…銀行：群馬銀行　金古支店
振込先：フ　０８１８１５４
名義：フランシスコの町　奨学金

令和５年度　行事予定（３月～12 月）

※今後の新型コロナウィルス感染症による情勢の変化によっては、予定していた行事を行わない場合もございます。

4 月　イースター
6 月　田植え
10 月　稲刈り
12 月　クリスマス会

編集後記

段々と春の足音が近づいてきました。子どもたちも新年度に向けてそわそわ、わくわくし始めています。変化は楽しみでもありますが、ストレスにもなります。体調を整えつつ、かけがえのない日常を送れるよう子どもたちを見守っていきたいと思います。（櫟）